



**伊達市地域公共交通計画に係る
伊達市民生委員児童委員協議会及び
伊達市連合自治会協議会への聞き取り調査結果**



実施概要

(1) 聞き取り調査の目的

伊達市地域公共交通計画の策定に向けて、計画の方向性を整理しました。

伊達市民生委員・児童委員協議会及び伊達市連合自治会協議会に聞き取り調査を実施し、日ごろから感じている公共交通の課題や、伊達市が検討している取組の方向性等について、計画策定の参考として、ご意見をいただきました。

(2) 調査方法

各団体の会議に時間を設けてもらい、計画の現状・問題点、課題、基本方針、基本目標、施策を提示し、アンケート形式で後日回答をいただきました。

(3) 調査日

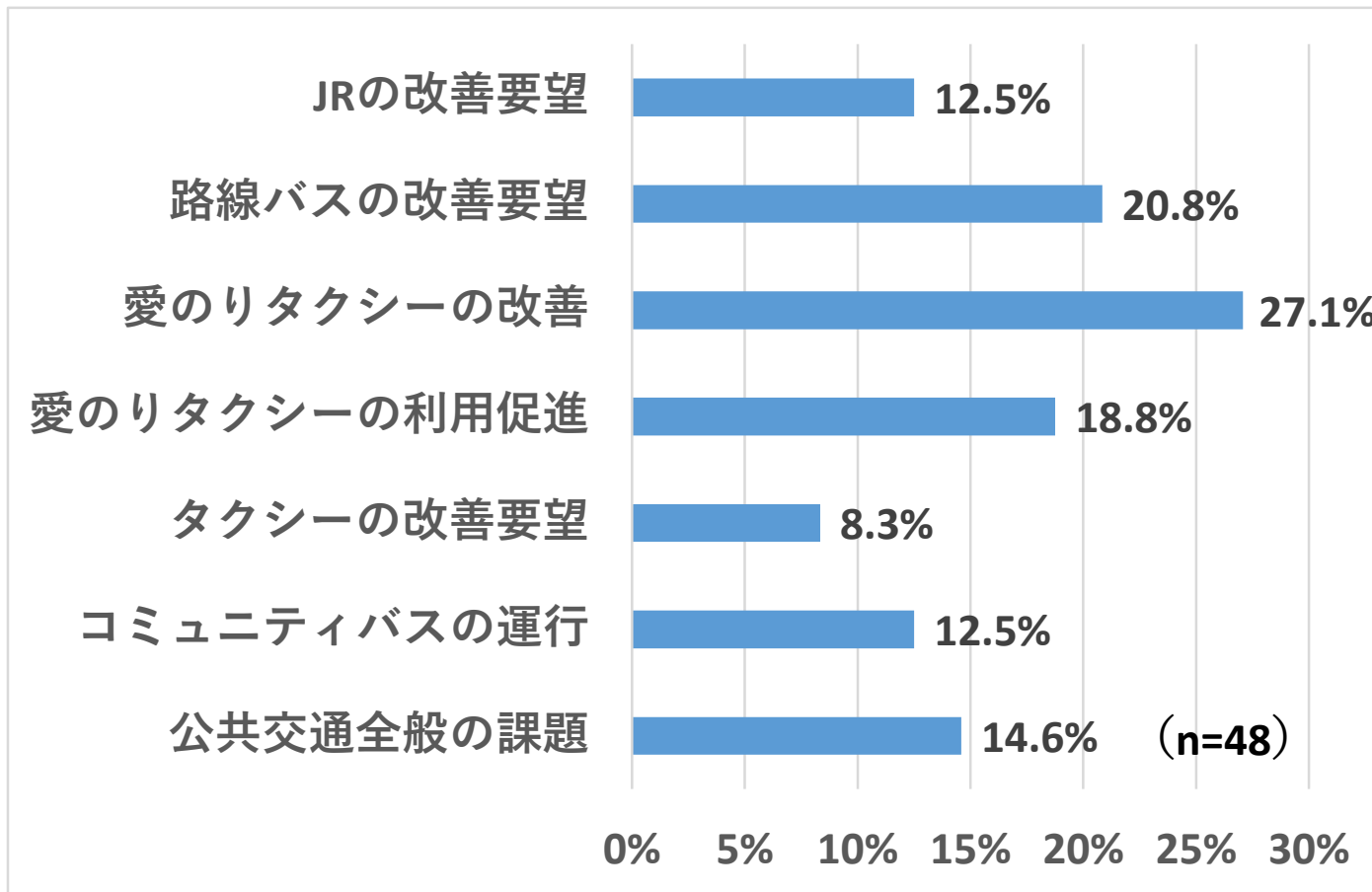
令和3年10月7日～19日

(4) 調査内容

- ・ 日ごろ感じている公共交通の課題
- ・ 計画の構成として「現状・問題点」「課題」「基本方針」「基本目標及び施策」の認識や取り組みの妥当性
- ・ その他、基本目標や施策メニュー以外に考えられる取組に対する意見

1. 公共交通について感じている課題

- ◆日ごろ公共交通について感じている課題を項目分けすると「愛のりタクシーの改善」が最も多く、この内訳としては1時間前までに予約しなければならないなどの予約のタイミングや、迂回による乗車時間の長さなど、システムの改善が求められている状況です。
- ◆「路線バスの改善」として、便数の少なさや、自宅・目的地の近くにバス停が無いなどが挙げられています。
- ◆「愛のりタクシーの利用促進」として、利用方法や登録方法の周知など、情報提供の機会の増加を求めている意見が多くなっています。



2. 伊達市地域公共交通計画の妥当性

◆伊達市地域公共交通計画に記載する内容の妥当性については、現状・問題点の認識、課題の認識、基本方針のそれぞれについて、9割強の方から「妥当」と回答を得ています。

※基本方針：環境に優しく持続可能で誰もが移動しやすい公共交通網の実現

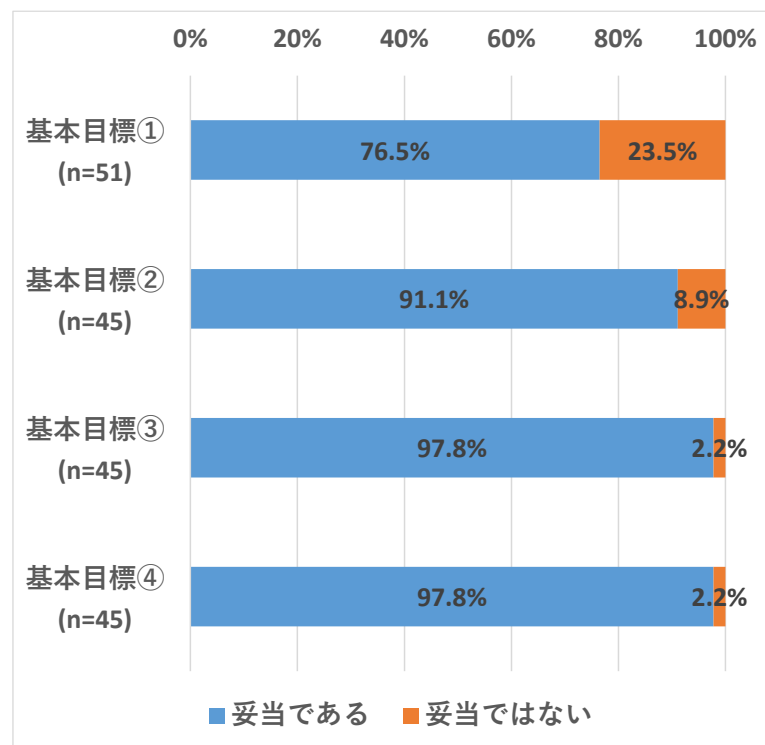
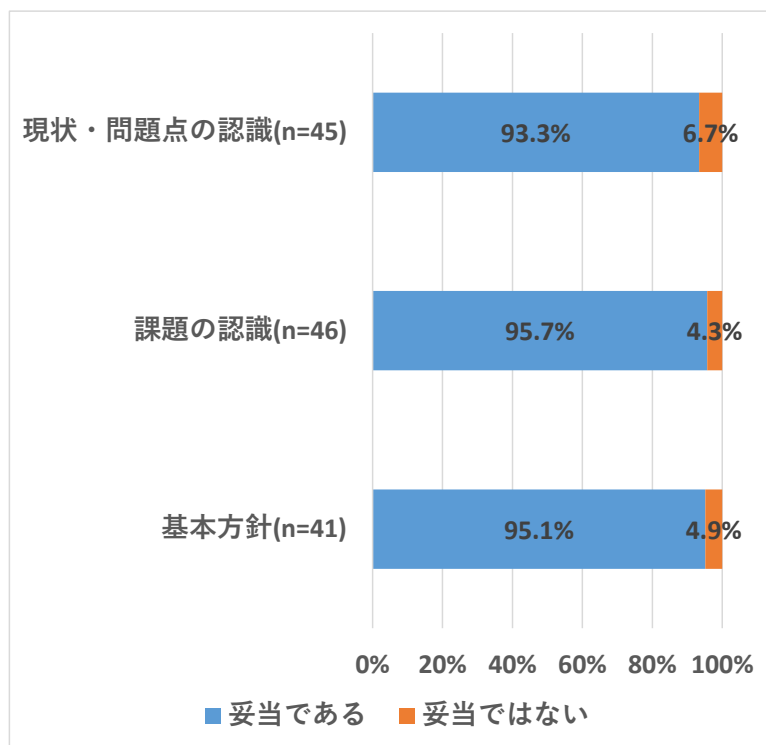
◆基本目標②～④については、9割以上が「妥当」を回答を得ています。一方、基本目標①に対しては、2割強が「妥当ではない」と回答を得ており、内訳としては特に市内循環バス（関内・弄月線）に対する増便や運行経路の見直しが求められています。そのため、愛のりタクシーへのAI技術の導入と合わせて、路線バスの利用しやすい環境づくりも施策に位置付けています。

※基本目標① 効率的で効果的な路線バスの再構築

基本目標③ まちづくりとの連携による地域活性化

基本目標② きめ細かい交通支援による利便性向上

基本目標④ 利用促進の強化による公共交通の維持



3. 基本目標以外で考えられる取組内容や要望

- ◆基本目標及び施策のメニューとして掲げた取組以外の内容として、複数の方から回答いただいた意見を整理しました。
 - ◆高齢者に対する買い物や通院などの目的に合わせた利用しやすい公共交通支援についての意見を5名の方からいただきました。
 - ◆愛のりタクシーのより利便性の高いシステム構築や利用しやすい乗降場所の検討についても、4名の方からいただきました。
 - ◆観光への配慮や車両の小型化のほか、ボランティア輸送や冬期の移動手段の確保など様々なアイデアが出ております。
- ⇒ 愛のりタクシーの改善や大滝区のデマンド型交通などの取組を推進するにあたって、これらの意見を踏まえて検討します。

・行動目的に合わせた移動支援	: 5件
・利用しやすい乗降場所（バス停等）の検討	: 4件
・愛のりタクシーのシステムの改善	: 4件
・観光客への配慮	: 2件
・バス車両の小型化	: 2件